様式第６号

**文化芸術の力による地域力向上支援事業　実績報告書**

公益財団法人宮城県文化振興財団　理事長　殿

令和○年１０月１５日

令和○年２月１５日付け公宮文第１２３号で交付決定のありました助成事業について、下記のとおり実施しましたので報告します。

１　申請者

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ふりがな | こどものためのおぺらせいさくぷろじぇくと | | | | | |
| 団体名 | 子供のためのオペラ制作プロジェクト | | | | | |
| ふりがな | こくぶん　あおば | ふりがな | | じょうぜんじ | | |
| 代表者名 | 国分　　青葉 | 活動名・芸名 | | 定禅寺　あおば | | |
| 団体所在地 | 〒980－0803  宮城県仙台市青葉区国分町三丁目３－７　国分プラザ５０１号 | | | | | |
| 電話番号 | （０２２）２２５―８６４１ | | メールアドレス | | | aoba@miyagi.jp |
| ふりがな | みやぎ　はなこ | | | | | |
| 担当者名 | 宮城　　花子 | | | | | |
| 担当者住所 | 〒980－1234  宮城県仙台市青葉区国分町2丁目1-1 | | 通知書送付先 | | 代表者　　担当者  ※希望する方に☑ | |
| 電話番号 | （０２２）２２５―１２３４ | | メールアドレス | | hana@miyagi.jp | |

２　事業概要

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 事業名 | みんなでオペラをつくろう！舞台創作プログラム | |
| 実施時期 | 令和○年7月26日（土）～8月23日（土）の内７日間 | |
| 開催会場等 | ○○市文化会館　スタジオ及び会議室 | |
| 各種料金 | 無料【入場自由 　事前申込制 　整理券配布　その他 （　　　　　　　　）】  有料【3,500円/　　　　　　　　　　円/　　　　　　　　　　　円】  ※該当するものに☑し、有料の場合は券の種別に応じた金額を記載する。 | |
| 事業概要 | 小・中学生を対象としたオペラ創作プログラムを実施する。  成果発表として最終日に入場無料の発表会を行う。 | |
| 参加者・  入場者数等 | プログラム参加者　小学生　16名　中学生　6名  成果発表公演入場者　86名 | |
| 実施体制 | ※実施に関わった主なスタッフの役割と氏名を御記入ください。  ファシリテーター　○○氏　○○氏　○○氏　○○氏　○○氏  ピアニスト　○○氏  舞台監督　○○氏　技術スタッフ　○○氏　○○氏  運営スタッフチーフ　○○氏 | |
| 当財団以外への助成金等の依頼先 | | ○○文化事業団助成金　100,000円/○○文化振興会　200,000円 |
| 共催・後援依頼先 | | △△市教育委員会 |

３　事業実施状況

|  |  |
| --- | --- |
| 当財団文化振興事業の実施における基本方針との関連 | ※該当するものに☑  **文化芸術を鑑賞する機会を提供する。**  **文化芸術にあまり親しむ機会がなかった方にも楽しめる企画を提供する。**  　文化芸術の担い手を育成し、子供たちの感性やコミュニケーション能力を養う。  **「人」「地域」「芸術家」をつなげ、地域の文化芸術を活性化する。** |
| 実施状況 | ※出演者、講師、対象者、回数、実施状況等を具体的に御記入ください。  ※継続する事業については、今回実施したの新たな展開や工夫した点等についても御記入ください。  令和○年1月　プログラム案作成、会場選定ミーティング（1回）、会場申込  令和○年2月　ファシリテーター等の人選、予算作成、広報計画作成  令和○年3月　ファシリテーター等の依頼、協賛依頼、運営スタッフ募集  HP開設、SNS開始  令和○年4月　チラシ2,000枚・ポスター500枚作成、  児童館、文化施設、市民センター50か所にポスター及びチラシ配布  令和○年5月　参加者募集開始  ピアニスト○○氏との打ち合わせ（2回）  ファシリテーター○○氏との打ち合わせ（2回）  令和○年6月　参加者22名への事前資料送付、○○新聞社取材対応、○○テレビ出演  運営ミーティング（2回）、会場下見、会場との打ち合わせ  令和○月7月～8月　事業実施、事業振り返りミーティング |
| 事業プロセスや成果の発信 | ※発信の方法、内容、回数等を具体的に御記入ください。  ホームページ  　・イベント告知  　・運営スタッフ募集告知、参加申込フォーム掲載  　・参加者募集告知、参加申込フォーム掲載  　・プログラム実施・成果発表状況掲載  　・参加者の感想掲載  X／Instagram  　・イベント告知  　・イベント準備進捗状況（週２回のペースで投稿）  　・プログラム実施状況・成果発表状況（開催日翌日に投稿）  　・事業振り返りミーティング（実施日翌日に投稿） |
| 事業の効果 | ※「当財団文化振興事業の実施における基本方針との関連」で選択した内容について、どのように効果をもたらすことができたかを御記入ください。  小学４年生から中学2年生までの児童・生徒が集まり、アイデアを寄せ合って一つの作品を作り上げるという、学校生活の中では経験することのできない貴重な機会を提供することができました。  子どもたちは、役者、裏方スタッフ、表方スタッフ等の役割に分かれて活動しますが、ファシリテーター等が効果的に活動に関わることで、すぐに打ち解けて協力して活動することができました。試行錯誤しながら舞台を作り上げる過程で、子供たちの感性やコミュニケーション能力が発揮されている様子がうかがえました。  　　また、本事業では、子供たちに舞台芸術に関する様々な職業、業務内容を知る機会を提供することができました。このことは、文化芸術への理解を深めたり、今後の文化活動への参加意欲を高めたりすることが期待されます。  文化芸術に触れる機会が増えることで、次世代の文化芸術の担い手を育成することにもつながるものと考えます。 |
| 参加者、来場者等アンケートについて | ※アンケートの集計結果を御記入ください。  アンケート実施回数  プログラム参加者22名　５回／配布　110枚／回答　110枚　回収率100%  成果発表参加者　86名　１回／配布　 86枚／回答　 51枚　回収率 59.3％ |
| ※アンケート集計結果等から得られた分析や事業評価を御記入ください。  ■プログラム参加者  5段階評価結果  　・満足度　　4.8　・プログラム理解度4.2　・職業及び業務理解度4.6  　・継続意欲　4.8  　　参加者の年齢の幅が10歳～14歳と幅があったが、オペラ制作への理解度や職業に関する理解度に大きな差はありませんでした。文化芸術プログラムに初めて参加する子供は68％（15名）。文化活動を継続する意欲も高く、制作過程を学ぶことで関心を高められたと推測されます。  　自由記述内容  　・自分のアイデアを演技に入れてもらってうれしかった。（小５）  　・本番は緊張したけれど、良い作品が作れたので自信をもって発表できた。（中２）  ■成果発表参加者  　5段階評価  　・成果発表の満足度　4.6　・プログラムへの評価　4.5　・継続希望　4.3  　　成果発表参加者はプログラム参加者の保護者が82％（70名）、その他、地域で活動する音楽家や、教育系・芸術系大学の学生も来ていました。家族の出演する舞台を契機に、オペラや劇場に心理的なハードルを感じていた層へ一定の働きかけができたと思われます。  　自由記述内容  　・子供たちが一生懸命に取り組む姿を見て、良い経験ができていると感じた。  ・各所に創意工夫が感じられて、興味深く鑑賞した。 |
| 上記以外の成果等について | ※事業の成果、達成度、今後の課題等について御記入ください。  プログラムの様子や成果発表について各種報道機関から取材を受け、社会的にも一定の評価を得られたと感じています。  年齢の幅を持たせることでミュニケーション能力が向上する面もあるが、作品制作において困難が生じる場面もあったため、バランスの調整が今後の課題です。 |
| 助成事業への要望や感想 | 初めて助成金の申請を行いましたが、当初考えていたよりも手続きは易しいものでした  　また、別のプログラムを実施する際に活用したいと思います。 |

※２～３ページ目については、必要に応じスペースを拡大・縮小して構いませんが、全体として３ページ以内でまとめてください。

※下記の資料を添付してください。

　①「助成」として，当財団の名義が表記されている資料（チラシ等）

　②対象経費の領収書の写し

　③振込口座通帳の写し（支店名・口座番号が記載されている部分）